



プランクトンの模型をつくろう！

模型のモデルの動物プランクトン「カイアシ類」について

生態系ピラミッドの底辺近くで食物連鎖を支える生き物

カイアシ類は、エビやカニと同じ甲殻類の仲間です。植物プランクトンを食べる動物プランクトンで、生涯プランクトン生活を送る「終生プランクトン」でもあります。世界中の海にすみ、動物プランクトンとしてはもっとも量が多く、生態系ピラミッドの底辺に近いところで食物連鎖を支えています。

洗濯のごみとりネットや手ぬぐいで自作したプランクトンネットでも採集でき、肉眼で泳ぐ様子を見ることもできます。とても親しみやすい海の生き物です。

甲殻類のカイアシのからだは、頭部、胸部、腹部の3つに分かれています。頭部には長い2本の触角（第一触角）と、赤いひとつ目（眼点）が目立ちます。また、小さな触角や食べ物をとる器官もついています。ここで紹介する模型では省略しました。

「カイアシ」という名の由来は「櫂脚」です。胸脚（遊泳肢）を櫂＝オールのように動かして泳ぐことから名づけられたそうです。胸肢は4～5対あり、模型ではストローで表現しました。腹部は細くなっていて、先に長い尾肢が伸びています。

オスとメスの性別があり、種類によってはメスが受精卵を卵のうに入れてからだにつけ、孵化するまで守ります。

